

かめのり賞表彰者一覧表

| | 表彰者(敬称略) | |
|------|------------------------------------|---|
| 第12回 | 1 特定非営利活動法人 ISAPH(アイサップ) | 国際保健医療協力の経験をベースに2004年に設立したNPO法人。ラオスでの住民保健や栄養改善の総合的な底上げを図る母子保健プロジェクトにより、低体重児の割合を半減、乳幼児の死亡率の低減にも貢献 |
| | 2 特定非営利活動法人 プレーンヒューマニティー | 兵庫県西宮市を拠点に約600名の大学生が主体のNPO法人。阪神・淡路大震災で被災した子どもの支援から始まり、野外活動、国内外でのワークキャンプ、不登校児や経済的に困窮する子ども達の支援など幅広く活動を展開 |
| | 3 学校法人 アジア学院 | 1973年栃木県那須塩原市に創立、アジア・アフリカ等発展途上国の農村指導者を養成する学校。貧困や格差、環境破壊など世界には多くの課題があり、これら諸問題の解決法やこれからの生き方について実践を通して学ぶ研修所 |
| 第11回 | 1 田村 太郎 (一般財団法人 ダイバーシティ研究所代表理事) | 阪神・淡路大震災で被災した外国人へのサポートを機に「多文化共生センター」を設立。多文化共生社会の形成に20年以上携わる。「多文化共生マネージャー」の養成やソーシャルビジネスによるダイバーシティ推進の担い手育成にも力を注ぐ |
| | 2 認定特定非営利活動法人 かものはしプロジェクト | 子どもが売られない世界を作るために、カンボジアにおいて最貧層の女性たちが働けるようライフスキルトレーニング等の活動をはじめ、手作りのブランドを立ち上げることで、雇用の場を提供している。インドでも法執行支援など様々な事業を展開中 |
| | 3 一般社団法人 グローバル人財サポート浜松 | 「人は地域の財産」を理念に、在住外国人が手に職を持ち、日本で活躍できる人材になれるよう人材育成事業を行う。とくに介護人材養成事業に力を入れ、資格取得を支援している。また、外国人児童の就学前支援にも取り組んでいる |
| 第10回 | 1 特定非営利活動法人 国際ボランティア学生協会 | 様々なセクターを繋ぎながら、国際協力・環境保護・地域活性化・国内外での災害救援の分野で、学生の力を活かした活動を通じて、国際社会にて貢献できる人材の育成と、アジアと日本の若者の相互理解の推進に多大な貢献 |
| | 2 特定非営利活動法人 地球市民の会 | 佐賀県を中心に、「地球市民としての意識を育てる」ことを重視し、アジアでの教育支援や村落開発、韓国・中国の学生との交流事業、国内での国際理解ワークショップを通して、若者の育成と国際理解の推進に多大な貢献 |
| | 3 特定非営利活動法人 ふじみの国際交流センター | 埼玉県ふじみ野市を中心に、「多文化が未来を拓く」をモットーに、行政と連携しながら、在住外国人の生活支援、日本語指導、外国籍児童への教育支援を通じて、長年地域住民の相互理解と多文化共生社会の実現に大きく貢献 |

かめのり賞表彰者一覧表

| | 表彰者(敬称略) | |
|-----|-----------------------------------|---|
| | 4 【特別賞】 片桐 和子・片桐 昭吾 | 1997年から「教育と環境の「爽」企画室」の活動をはじめ、インド・ビジャカパトナムの「子どもの憩いの村」建設・運営から日本とインドを繋ぐ青少年の国際交流・共学のスタディーツアーまで、長年にわたり、発展途上国の恵まれない子供達への教育・生活支援に多大な貢献 |
| 第9回 | 1 特定非営利活動法人 国際地雷処理・地域復興支援の会 | カンボジア・バタンバン州を中心に、地雷処理活動を通して、村人の安全で自立可能な地域復興を支援するとともに、現地における学校運営やインフラ整備の人材育成にも大きく貢献 |
| | 2 川崎・富川高校生フォーラム・ハナ実行委員会 | 「アジア市民になろう」をキャッチフレーズに、日本と韓国の高校生が共同体験・学習・生活を通じて相互理解と友好関係を醸成し、様々なアジアの問題をとともに考えることで多文化共生社会の形成に多大な貢献 |
| | 3 公益財団法人 民際センター | メコン川流域の恵まれない子供たちに奨学金を提供し基礎教育支援をするほか、ラオスでは39校の学校建設をするなど、より多くの子どもたちが教育を受けられるよう、市民の力による教育環境の整備に多大な貢献 |
| | 4 認定NPO法人 IVY | 山形を中心とした東北各地のユースメンバーが、カンボジアの小学生のために算数ドリルを作成し贈呈する教育支援や、日本で地球子供キャンプの活動を通じ、カンボジアとの交流と相互理解に多大な貢献 |
| | 5 特定非営利活動法人 在日外国人教育生活相談センター信愛塾 | 在日外国人を対象にした教育・生活・人権に関する生活相談や、外国人の子供たちの「居場所」づくりなど、長年、地域の外国人住民の課題解決に伴走型「支援」をすることにより、多文化共生の推進に大きく貢献 |
| | 6 特定非営利活動法人 APLA | フィリピン・ネグロス島での研修農場の運営支援、農業の技術提供など、経験を分かち合い、協働する場を創り出し交流することによって、アジアでの地域自立と人材育成に大きく貢献 |
| | 7 認定特定非営利活動法人 国境なき子どもたち(KnK) | 日本と世界の子どもたちが「共に成長する」ことを理念に、日本の青少年がアジアの子どもたちの課題を取材し、現地で交流する「友情のレポーター」事業を通じて、国際理解の推進に多大な貢献 |
| | 8 りてらこや新潟 | 新潟市を中心に、教科書の翻訳やルビ付けの学習サポート、日本語学習教材の作成など、外国から来た子どものための市民のリテラシー向上を通して、多文化共生社会のために大きく貢献 |

かめのり賞表彰者一覧表

| | 表彰者(敬称略) | |
|-----|------------------------------------|--|
| 第8回 | 1 特定非営利活動法人 多文化共生教育ネットワークかながわ | 神奈川県において、「日本語を母語としない人たちのための高校進学ガイドダンス」をはじめ、外国につながる子どもたちの教育支援や交流を通じて、地域と連携しながら、長年、多文化共生社会の構築に多大な貢献 |
| | 2 小さな美術スクール | カンボジア・シェムリアップを拠点に、無料の美術スクールや日本語教室をはじめ、生活困窮家庭の子どもたちの教育支援を通じて、子ども達の可能性を引き出し、次世代の文化の担い手を育てることに寄与 |
| | 3 認定特定非営利活動法人 地球の木 | 神奈川県において、ネパールやカンボジアを中心に、少数民族や貧困家庭の少女たちの自立支援のための識字教育や職業訓練、そして海外支援の経験を生かした国内の地球市民教育を通じて、地域に根づいた国際協力の推進に多大な貢献 |
| | 4 特定非営利活動法人 新潟国際ボランティアセンター | ベトナムを中心に開発途上国の人々と新潟をつなげ、小学校建設、大学生への奨学支援や障がい児の生活支援、また国内での地球を知る講座を通じて、長年、地域の市民活動を活性化し、国際協力に多大な貢献 |
| | 5 公益財団法人日本キリスト教婦人矯風会 「女性の家HELP」 | 女性や母子の人権のため、日本で草分け的なシェルター活動と多言語電話相談、また積極的な啓発活動を行い、長年、アジアをはじめとする外国籍の女性や母子の支援と課題解決に向け、多大な貢献 |
| | 6 特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター | 日・タイの若手の農民リーダー交流プログラムをはじめとする研修を通じて、それぞれの国や地域で社会の変革を望む人々の草の根の「学び合い」と「交流」の場をつくり、その実践を支える活動により、長年、国際協力と人材育成に大きく貢献 |
| | 7 特定非営利活動法人ニランジャナセワサンガ | すべての人々がともに生き、ともに学べる社会づくりの実現を目的に、インド・ビハール州を中心に、貧困層の子どもたちへの学校教育の提供、孤児院の設立・運営や女性への職業訓練を通じて、国際協力と人材育成に多大な貢献 |
| | 8 特定非営利活動法人みんなのおうち | 東京都新宿区において、アジア諸国にルーツを持つ子どもへの日本語指導と学習支援教室、新潟での自然体験や日本人との交流を通じて、地域社会を活性化し、多文化共生社会の実現のために大きく貢献 |
| | 9 NGO ユイマール | 世界中の子ども達が自尊心を持って暮らし、自己実現を目指せる社会の実現に向け、モンゴルを拠点に、孤児院の運営支援、音楽による独自プログラムの実施や奨学事業を通じて、孤児院の子ども達の自立支援に多大な貢献 |
| 第7回 | 1 特定非営利活動法人アクション | 生まれた国や家庭の経済事情による不平等の解消を目指し、フィリピンでの孤児院支援や職業訓練、日本の青少年に対する国際ボランティア体験や国際理解教育活動を通じて、国際協力と相互理解に多大な貢献 |

かめのり賞表彰者一覧表

| | 表彰者(敬称略) | |
|-----|---------------------------------|--|
| 2 | 特定非営利活動法人 アジアの子どもたちの就学を支援する会 | カンボジアで学校建設や井戸の寄贈、教員や生徒への支援を通じて、困窮した農村が抱える教育問題の改善活動や日本の大学生を派遣し情操教育を行い、交流を深め、国際協力と相互理解の促進に大きく貢献 |
| 3 | アジアの留学生と交流する会 | 埼玉県西南部を中心に、アジアからの留学生への奨学金支援、料理会や留学生による講演会の活動を通じて、地域住民との密度の濃い交流を行い、長年、地域に根ざした異文化理解と友好関係の促進に多大な貢献 |
| 4 | 特定非営利活動法人 国際交流ハーティ港南台 | 国際交流と相互理解、外国人への情報提供を目的に、多言語医療問診票の制作、提供から始まり、フィリピンの極貧の子どもたちへの医療・教育支援や図書館建設を通じて、草の根で国際協力と多文化共生の地域づくりに大きく貢献 |
| 5 | ステップ国際理解 | 神奈川県横浜市で、アジアを中心とする外国人講師と日本人アシスタントが小学校を訪問し、各国を紹介する活動を通じて、子どもたちの知識や世界を広げる発展学習と開発教育を推進し、地域に密着した国際理解教育に長年、大きく貢献 |
| 6 | 特定非営利活動法人 地球市民ACTかながわ/TPAK | タイ・ミャンマー・インドの少数民族や農村部の子どもと女性の教育、健康、自立支援や日本の青少年の国際協力の担い手の育成活動を通じて、国際相互理解と地球市民社会の実現を目指し、多大な貢献 |
| 7 | 特定非営利活動法人 てのひら・人身売買に立ち向かう会 | 「人身売買の起こらない社会」を目指し、アジアから日本で被害に遭った女性の日本語読み書き教室、その子どもへの支援と東京・神奈川の学校などへの啓発活動を通じて、様々な背景を持つ外国籍女性の課題解決に向け、多大な貢献 |
| 8 | 認定特定非営利活動法人 日本ネパール女性教育協会 | ネパールの山村地域のすべての少女への小学校教育の普及を目的に、女性教員の養成、寮の設立・運営、卒業後の教員への支援活動や「教育里親システム」を通じて、国際協力と人材育成に大きく貢献 |
| 9 | 公益財団法人PHD協会 | 「共に生きる社会」を目指し、アジア・南太平洋地域からの専門技術を学ぶ研修生の招へい、研修後の支援を通じ、自立した村づくりと生活の向上を支援し、また日本との人的交流を行うことにより、平和と健康を担う人材育成に多大な貢献 |
| 10 | 夏目 長門 | 口唇口蓋裂児とその家族の支援のため、東南アジアを中心に医師、看護師を派遣して無料診療の実施、病院建設や医療機材の寄贈、国内では偏見をなくす啓蒙活動を通じて、日本の医療技術移転を推進し、国際協力に大きく貢献 |
| 第6回 | 1 江差・スリランカ友好の会 | スリランカの教育の行き届かない地域でプレスクール「TERAKOYA」を運営し、子どもを中心とした英語教育や公立小中学校に対する情報教育などの施設拡充や医療支援活動を通じて、国際協力に大きく貢献 |

かめのり賞表彰者一覧表

| | 表彰者(敬称略) | |
|-----|---------------------------------|---|
| | 2 多文化ファミリー会とめ | 宮城県登米市でアジアからの外国人配偶者への日本語講座やサポートをきっかけに、多文化に関するセミナーや交流会を通じて、外国人市民が地域社会の一員として活躍できる多文化共生の地域づくりに大きく貢献 |
| | 3 特定非営利活動法人 デックタイグループ | 栃木県宇都宮市で在日タイ人が中心となり、相談業務、日本語・タイ語教室や日本人との交流会を通じて、日本でのタイ文化普及やネットワークづくりなど地域での国際相互理解と多文化共生の推進に大きく貢献 |
| | 4 特定非営利活動法人 かものはしプロジェクト | カンボジアで最貧困層女性への職業訓練、孤児院・警察訓練などの支援や日本人のスタディツアーを通じて、子どもが未来に希望を持てる活動を持続的かつ発展的に行うことにより国際協力に多大な貢献 |
| | 5 アジア女性自立プロジェクト | アジアを知るための学習会やスタディツアー、在日外国人女性への相談・情報提供、フェアトレード活動を通じて、アジアで国籍、性別、階級を超えて協力しながら生活する社会づくりと相互理解の推進に大きく貢献 |
| | 6 静岡学生NGOあおい | 学生が主体となり、カンボジアで高校生を対象にした児童の権利を守る活動や日本の大学生のスタディツアー、啓発誌「かぼちゃ」の頒布を通じて、国際協力や国際理解促進に大きく貢献 |
| | 7 特定非営利活動法人 バーンロムサイジャパン | タイでHIV感染孤児等、社会的に弱い立場の人々への支援や日本とタイでの芸術・文化活動を通じたエイズに関する市民への啓蒙活動を通じて、両国の相互理解促進と国際協力に大きく貢献 |
| | 8 認定特定非営利活動法人 ブリッジ エーシア ジャパン | アジアの人々との連帯、共生の実現のため、ミャンマー・ベトナムを中心にインフラ整備、学校建設、女性の能力・生活向上支援などを通じて、環境改善活動を多角的に行い、国際協力に多大な貢献 |
| 第5回 | 1 特定非営利活動法人 あおもりコリアネット | 青森県で民間が主体となって、韓国語教育や文化普及活動をはじめ、通訳ボランティアなど韓国人観光客への支援活動を通じて、草の根で地域の国際交流に大きく貢献 |

かめのり賞表彰者一覧表

| | 表彰者(敬称略) | |
|-----|------------------------------------|---|
| | 2 特定非営利活動法人 アクセス-共生社会をめざす地球市民の会 | フィリピンや日本で、スタディーツアーやフェアトレード事業を通じて、地球市民として貧困のない平和なアジアをつくり上げることを目的とした国際協力に大きく貢献 |
| | 3 一般財団法人 カンボジア地雷撤去キャンペーン | カンボジアで現地の地雷撤去団体とともに、地雷原での学校運営、地雷被害者や病院への医療資金援助、そしてこころのサポートのためのラジオ番組の放送活動を通じて、国際協力に大きく貢献 |
| | 4 特定非営利活動法人 神戸定住外国人支援センター | 阪神・淡路大震災の外国人支援を契機に、神戸で外国にルーツを持つ子どもの日本語・教科学習支援、定住外国人の日本語教育活動や介護支援などを通じて、多文化共生社会のために大きく貢献 |
| | 5 特定非営利活動法人 JHP・学校をつくる会 | 「学校」や「教育」をテーマに、カンボジアを主として、教育の機会を奪われた子どもたちへの教育支援や次世代を担う若者への地球市民教育を実践する活動を通じて、国際協力に大きく貢献 |
| | 6 NGO ONE LOVE | フィリピンやネパールを拠点に、学生が主体となり、子どもや同世代の青年たちと経済自立を目的としたコミュニティトレードや児童養護施設の運営資金支援を通じて、国際協力や国際理解教育に大きく貢献 |
| | 7 田島 伸二 | 「ヒューマン・リテラシー」の概念をもとに、長年にわたりアジア地域での貧困層の子どもたちの識字教育や紛争地域での平和絵本の出版などの草の根の活動を通じて、アジア地域の相互理解・協力を大きく貢献 |
| 第4回 | 1 インドネシア教育振興会 | 「えんぴつ1本からできる国際ボランティア活動」から、インドネシアの子どもたちの教育環境の改善や自立支援を通じて日本の子どもの国際理解と互恵の精神を育むことに大きく貢献 |
| | 2 特定非営利活動法人 JFCネットワーク | 長年、ジャパニーズ・フィリピーノ・チルドレンとその母親の人権保護や、子どもたちの教育支援によって、日比家庭の課題解決を草の根の活動で支え、日本とフィリピンの相互理解に大きく貢献 |

かめのり賞表彰者一覧表

| | 表彰者(敬称略) | |
|-----|---|---|
| | 3 モンゴルに風力発電機を贈る会 | モンゴルの遊牧民の生活改善の一助として「風力発電機を贈る」活動を通じて、ウランバートル市と宮崎県都城市との市民友好交流を生み、アジアとの国際相互理解に大きく貢献 |
| | 4 特定非営利活動法人 日本語多読研究会 | 日本語指導の経験を通じて、「日本語多読」の必要性から、ボランティア活動として地道に開発した学習ツールとその普及により、外国人学習者の日本語の向上と日本文化理解の推進に多大な貢献 |
| | 5 ユース・エンディング・ハンガー | 「飢餓のない世界」を作るために、日本とバングラデシュを中心に、ユースボランティアが飢餓や貧困を考え、支援することにより、アジアの若者同士の交流を促進し、国際協力のために大きく貢献 |
| | 6 特定非営利活動法人 ふくかんねっと | 福島市を拠点とし、人的交流・言語・文化・芸術・スポーツと多岐にわたる日韓交流活動を通じて、地道なスタイルで地域レベルの国際相互理解や多文化共生の推進に大きく貢献 |
| | 7 特定非営利活動法人 ASIAN PEOPLE'S FRIENDSHIP SOCIETY | 東京都板橋区を拠点に、長年日本人と外国人住民の「相互扶助」の考えのもと、豊かな多文化共生社会の実現を目指し、地域の外国人住民が抱える課題解決に取り組み、相互理解に大きく貢献 |
| | 8 特定非営利活動法人 国際ボランティア学生協会 | 学生が主体となり、国際協力・環境保護・地域活性化・災害救援の分野で、学生のパワーや感性を生かした活動を通じて、地域社会に貢献できる人材の育成と、アジアと日本の若者の相互理解の推進に大きく貢献 |
| | 9 特定非営利活動法人 地球市民交流会 | 在日外国人をはじめ、日本語を母語としない住民への支援を日常生活の相談や災害通訳派遣など、語学を通じて行うことにより、新旧住民間の共生の推進と相互理解のために大きく貢献 |
| 第3回 | 1 大森 和夫・大森 弘子 (国際交流研究所) | 長年中国を中心に、海外の日本語学習者のための日本語教材・情報季刊誌の発行と寄贈、日本語作文コンクールなど「日本と日本人」の理解を深める日本語交流を推進する活動に多大な貢献 |
| | 2 特定非営利活動法人 日中環境保全友好植林実践会 | 中国東北部において、友好植林や緑化推進の実践活動を日中両国の学生や市民と協働することにより、自然と共生できる住みよい社会の実現と日中の友好親善に大きく貢献 |
| | 3 特定非営利活動法人スマイルクラブ | 障がい児はじめとする「運動が苦手な子の教室」、その指導者の養成やアジアにおける指導者ネットワークづくりなど、アジアの国々で障がい児の運動指導の普及と交流の推進に大きく貢献 |

かめのり賞表彰者一覧表

| | 表彰者(敬称略) | | |
|-----|---------------------------------|---|---|
| 4 | 西山 友美 (ベトナム母国語教室) | ベトナム難民2世の子どもたちのために、母国の言語や文化を指導する一方、日本社会に溶け込めるよう支援することを通じて、在日ベトナム難民と日本の懸け橋として、地域の国際相互理解の推進に多大な貢献 | |
| 5 | 日本ベトナム友好協会川崎支部 | 神奈川県川崎市から提供された放置自転車をベトナム・ダナン市の子どもたちのために寄贈する活動を通じて、ダナン市との独自の国際交流と友好推進に大きく貢献 | |
| 6 | 教育と環境の「爽」企画室 | インド・ビシャカパトナムでのストリートチルドレンのために自立支援センター「子どもの憩いの村」をはじめ発展途上国の子どもたちへの就学支援活動を通じて、国際協力の推進に大きく貢献 | |
| 7 | 特定非営利活動法人 日パ・ウェルフェア・アソシエーション | パキスタン・キルギットに「母子保健指導センター」を建設し、貧困層の母子に対する保健衛生・栄養指導などの支援活動を通じて、日本とパキスタンの相互理解の向上と国際協力の推進のために大きく貢献 | |
| 8 | 船と翼の会ふくしま | 福島県福島市で「夢企画～福島・タイ交流プログラム」や国際理解教育のためのワークショップなどを実施し、また他団体と協働することによって、福島県の多文化共生推進に大きく貢献 | |
| 9 | エコ・リーグ(全国青年環境連盟) | 学生を中心に、多くの若者がポジティブな環境活動を生み出し、アジア15カ国・地域の青年環境団体、青年リーダーの草の根のネットワーク形成や国際的に活躍できる人材育成を通じて、国際相互理解の推進のために大きく貢献 | |
| 10 | 特定非営利活動法人 「飛んでけ！車いす」の会 | 北海道札幌市を拠点に、中古の車いすを修理・整備し、アジアを中心に海外に届ける活動、スタディーツアーを兼ねた追跡調査、メンテナンス体験学習を通じて地域に根ざした国際相互理解の推進に大きく貢献 | |
| 第2回 | 1 | 特定非営利活動法人 日本・雲南聯誼協会 | 中国・雲南省の少数民族のために、学校建設プロジェクトをはじめとする教育支援や日本とのフレンドシップ交流の活動を通じて、日中の国際相互理解の推進に大きく貢献 |
| | 2 | 特定非営利活動法人 NPOアジアマインド | 日本とアジア地域での、聴覚障がい児の文化交流や補聴器システムの技術支援の活動を通じて、多面的に国際相互理解を深めることに大きく貢献 |
| | 3 | 小山 道夫 (ベトナムの「子どもの家」を支える会) | ベトナム・フエ市でのストリートチルドレンの自立支援をきっかけにJASS会を主催され、障がい児支援や奨学金支援にまで拡大し、日越の青少年国際交流に多大な貢献 |

かめのり賞表彰者一覧表

| | 表彰者(敬称略) | |
|-------------|---|---|
| | 4 内田 弘慈 (カンボジア孤児院だるま愛育園サ ポート会) | カンボジアでの井戸掘り活動はじめ、孤児院だるま愛育園の建設・運営、子 ども農園プロジェクトを将来に向けて継続的に行う活動を通じて、現地の青 少年のために多大な貢献 |
| | 5 グローバル・グループ | 栃木県鹿沼市に住む外国籍市民に対する生活支援と交流を草の根で支 え、小中学校の国際理解教育や支援ボランティアのネットワーク作りの活 動を通じて、地域の国際相互理解の推進に大きく貢献 |
| | 6 特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか | 大阪府豊中市で、留学生や在住外国人との交流や生活支援など、地域と 密着した国際交流活動を長年継続することにより、国際相互理解の推進に 大きく貢献 |
| | 7 特定非営利活動法人 関西国際交流団体協議会 | 地球市民社会・多文化共生社会を目指し、関西の国際交流・協力のNGO、 NPOのために、多セクターとのネットワーク作りや中間支援活動を通じて、 国際相互理解の推進に大きく貢献 |
| | 8 LOOB JAPAN | 北海道北見市を拠点に、フィリピンでのワークキャンプによる交流型の青少 年育成活動や低所得者層の地域開発、教育支援の活動を通じて、日比国 際相互理解の推進に大きく貢献 |
| | 9 アジア僻地医療を支援する会 | 高知大学医学部の大学生が主体となり、インドネシア・パプア州での医療 保健衛生事業や医療対策の支援、また日本でのチャリティイベント活動を 通じて、国際協力の推進のために大きく貢献 |
| | 10 愛媛県立新居浜工業高等学校 VYS(ボランタリーユースソーシヤル ワーカーズ)部 | 高校生が主体となり、古い車いすを修理・再生し、アジア諸国の福祉施設 へ寄贈する「空飛ぶ車いす」ボランティア活動を通じて、地域に根ざした国 際相互理解の推進に大きく貢献 |
| 第 1 回 | 1 ホランの会 | 日本の子どもたちにホームステイによるモンゴルでの通学体験の機会をつ くり、日本語を学ぶモンゴルの小学生を招いて日本の生活文化や学校生活 を体験させるなど日本とモンゴルの子どもたちが交流し友情を育む機会を 提供 |
| | 2 特定非営利活動法人 モンゴルパートナーシップ研究所 | モンゴル全土約600の小中学校すべてに黒板を贈る運動や遊牧生活を体 験するエコロジー・ツアー、日本国内の小中高校でのモンゴルの自然や文 化を伝える講演など両国の交流と国際理解教育を推進する活動を推進 |
| | 3 特定非営利活動法人 全国日本語教師会 | 外国人に対する日本語教育法の向上と日本語教師養成に熱心に取り組む とともに、日本在住の外国人のための「こども日本語教室」や「親子日本語 教室」を開くなど多文化共生社会をめざして努力 |

か め の り 賞 表 彰 者 一 覧 表

| | 表彰者(敬称略) | |
|---|---------------------------|--|
| 4 | 特定非営利活動法人 多文化共生センター東京 | 定住外国人家庭の児童・生徒の教育実態調査を展開し、大きな悩みとなっている言葉と高校進学支援のため「たぶんかフリースクール」を開設して、顕著な成果をあげるなど多文化共生社会の実現に貢献 |
| 5 | 特定非営利活動法人 将棋を世界に広める会 | 世界各国に日本の将棋を普及する活動の中で、中国・韓国と日本の小中学生の国際将棋大会を開くなど青少年の交流を推進 |
| 6 | 国際教育活動ネットワーク (REX-NET) | 文部科学省の教員派遣事業に参加し、海外の教育施設で日本語などを教えた貴重な経験を生かして、広く門戸を開いた研究会や研修活動、シンポジウムを行うとともに外国籍児童・生徒の受け入れや国際理解教育の向上、海外との交流などに尽力 |
| 7 | 高等学校中国語教育研究会 | 結成以来25年にわたり日本の高等学校における中国語教育の向上にボランティア精神で取り組んでこられました。全国研究会開催や教材編集のみならず、中国の日本語教師との交流や日中の高校生の交流などにも活動を広げておられることに敬意を表す |